

平成30年度事業計画

I 基本方針

私たちの進むべき方向性を明確にした「第2次中期計画」の初年度、平成30年度を概観すると、少子高齢化が進み、就業意欲の高い高齢者が増加している中、年齢に関わりなく活躍し続けることができるセンターへの期待はますます大きくなっています。

一方で、60歳代前半層の会員構成割合は長期雇用対策等により年々減少傾向にあり、会員の平均年齢は73歳を超えている状況です。また、平成29年度も休日入会説明会や女性入会説明会を開催し、会員数の増強に取り組んでまいりましたが、会員の中には病气等を理由に退会される方も増加しており、退会者を上回る新規会員の獲得が非常に難しい状況が続いていることから、会員数の大幅な伸びは期待できない状況にあります。

契約実績は、派遣事業が飛躍的に伸びていますが、センターの就業形態の中心である受託事業（請負・委任）は伸び悩んでおり、今後もより多くの会員の就業機会確保に向けて、多種多様な職種の開拓に取り組む必要があります。

また、安全にそして安心して働くことのできる環境づくりの推進に向け、昨年度に会員や発注者に配布した「安全のしおり」や「適正就業ガイドライン」の周知徹底を継続的に行うことも重要となっています。

このような状況を踏まえ、平成30年度の実業計画と目標値を定めました。

“みんなの笑顔のために” 魅力あるセンターを目指し、会員一人ひとり、そして役職員が一丸となって事業を展開してまいります。

【平成30年度事業計画】

- 1 会員の増強
- 2 就業の場の確保
- 3 安全・適正就業対策の推進
- 4 運営体制の強化・充実

【平成30年度目標数値】

会員数	受注件数	契約金額
5,300人	19,000件	17億8,000万円

II 事業実施計画

1 会員の増強

会員数 5,300 人を目指し、休日入会説明会や女性入会説明会、区民まつり等のイベントでの普及活動のほか、下記の計画を実施し、年間を通して会員の増強を図ります。

- (1) 会員の活動状況の冊子を作成し、入会説明会で活用し会員増強に努める。
- (2) さいたま市自治会連合会の協力を得ながら、チラシの回覧及びポスターを掲示し、センターの認知度を高める。
- (3) 女性会員の確保や会員自らの会員獲得運動を推進するため、女子会や交流会など楽しく過ごせる仲間づくりの場を検討する。
- (4) 会員が高年齢になっても、社会参加や地域活動ができるような体制づくりのための調査、研究を実施する。

2 就業の場の確保

契約金額 17 億 8,000 万円、契約件数 19,000 件、就業率 79%を目指し、大型店舗への営業活動や出張説明会のほか、下記の計画を実施し就業の場の確保に努めます。

- (1) 派遣事業の拡大に向けて、就業開拓員を増員し体制整備を図る。
- (2) ホームページから“発注者や会員の声”などを発信し、新たな就業の場の確保に努める。
- (3) センター事業を広く周知するため、一般市民を対象とした教養講座の開催を検討する。
- (4) 既存の独自事業の拡大と新たな独自事業を検討する。
- (5) 11 月を未就業者連絡強化月間とし、職種や条件など追加・変更するなど、就業相談に努め就業率の向上を図る。

3 安全・適正就業対策の推進

安全・安心して「働く」ために安全パトロールを強化するほか、下記の計画を実施し、安全・適正就業対策を推進します。

- (1) 事故の情報収集・分析・原因の検証を通じ、再発防止策を検討する。
- (2) 会員ニュース等を有効活用し、事故の再発防止策や日常の健康管理対策など有用な情報を発信する。
- (3) 適切な就業形態の理解を深めるため、「適正就業ガイドライン」等を活用した研修を実施する。

4 運営体制の強化・充実

さらなる業務体制の効率化や組織の活性化、ボランティア活動を通して地域社会に貢献するため、下記の計画を実施し運営体制の強化・充実を図ります。

- (1) 会員による自主的運営を図るため、地域班や職群班についての組織や活動内容等を全会員に発信し、組織の一員としての意識の高揚を図る。
- (2) 高齢者の社会参加意欲を共助に結びつける活動として、傾聴ボランティアグループ「**あゆみ**」やシルバーライフサポート事業（外出支援）を推進する。
- (3) 地域の子供達との世代間交流を目的としたふれあい教室事業として「猿花デイキャンプ」、「書き初め大会」を開催する。
- (4) 第2次中期計画の目標を達成するため、PDCAサイクル（計画・実行・評価・改善を繰り返し行うこと）により業務の効率化を図る。